

一般財団法人戸田みらい基金：設立10周年記念事業

生産性向上コンテスト

(省力化、効率化、工法改善、機械化、ロボット化等)

募集要項及び審査基準

主 催	一般財団法人戸田みらい基金
募集期間	2027年1月4日～2027年3月31日
審査期間	2027年4月1日～2027年5月31日
審査結果発表	2027年6月1日：戸田みらい基金ホームページに掲載
問い合わせ先	一般財団法人戸田みらい基金事務局 〒104-0031 東京都中央区京橋1-7-1 TODA BUILDING11F TEL：03-3564-2711 mail：info@toda-marai.or.jp HP: https://toda-mirai.or.jp

1. 趣旨・目的

本コンテストは、省力化・効率化・工法改善・機械化・ロボット化等において高い成果を上げる生産性向上に取り組む企業・団体に対し助成を行うことで、「担い手の安定的な確保・育成を通じた生産体制の確立」を推進し、持続可能な建設産業の発展に寄与することを目的とする。

2. 募集テーマ

- ・ 省力化・効率化（作業手順の見直し、プレカット推進、内業削減など）
- ・ 工法改善、道具・工具の開発（作業時間の短縮につながる新工法や自作治具の導入など）
- ・ 機械化・ロボット化・DX化（施工ロボット、ICT/ドローン、管理ツールの導入など）
- ・ その他、主催者が趣旨に合致すると認める取組

3. 応募対象・応募資格

【応募対象（取組内容）】

- ・ 建設現場における生産性向上（省力化・効率化・工法改善・機械化・ロボット化・DX化等）に自ら取組みにおいて、高い成果を上げている、または波及効果が期待できる活動・技術・アイデア
- ・ 既に取り組みを開始しており一定の成果が出ているもの、または募集期間内に具体的効果が見込まれる取組であること。

【応募資格（対象主体）】

- ・ 専門工事会社
建設業法に基づく建設業許可を有する専門工事会社（中小企業・中小事業者）
- ・ 建設業関連団体
専門工事会社で構成される協働組合、一般社団法人、技能継承・育成に取り組む各種団体等
- ・ 協働（共同応募）による取組
メーカー、ITベンダー、研究機関等と協働して実施する生産性向上活動
※但し、応募の主体（代表者）は「専門工事会社」または「建設業関連団体」であること

4. 応募方法・提出物

応募者は、応募期間内に〔提出先・提出方法〕により、次の書類を提出してください。

- ・ 応募申請書（応募者情報、取組名称、概要）
（別紙説明資料はA4で10ページ以内の作成をお願いします。）
- ・ 取組説明資料（課題、実施内容、効果、工夫、横展開計画を記載）
- ・ 効果算定の根拠資料（必要に応じて。工数、期間、件数、コスト、品質等）
- ・ 補足資料（写真、図表、動画、プログラム等。任意）

5. 募集期間・選考スケジュール

項目	予定
募集受付期間	[2027年 1月 4日] ～ [2027年 3月31日]
審査期間	[2027年 4月 1日] ～ [2027年 5月31日]
審査結果発表（予定）	[2027年 6月 1日予定]（戸田みらい基金ホームページに記載）
賞金振込日	[2027年 8月10日予定]

6. 表彰

賞区分	内容
最優秀賞	総合的に最も優れた取組 [1件・賞金10,000,000円]
優秀賞	特に優れた取組 [2件・賞金各5,000,000円]
優良賞	優れた取組 [5件・賞金各3,000,000円]

※表彰件数及び賞の種類は、応募状況及び審査結果により変更する場合があります。

※受賞に伴う賞金は課税対象となります。

賞金にかかる税金の申告・納付手続きは、受賞者において行っていただきます。

7. 審査方法

- ・ 書類審査：提出書類（応募申請書・説明資料）により、応募資格、要件充足及び評価項目を確認。
- ・ 最終審査：書類審査通過案件を対象に、審査員（5名）が審査。
- ・ 必要に応じて、主催者又は審査委員は応募者に対し、内容確認又は補足資料の提出を求めることがあります。

8. 応募にあたっての留意事項

- 提出資料は、応募者が権利を有するもの、又は必要な利用許諾を得たものに限りします。
- 第三者の機密情報、個人情報又は安全上配慮を要する情報を含む場合は、提出前にマスキングその他必要な措置を講じてください。
- 応募内容に虚偽、不正又は重大な法令・規程違反が認められた場合は、審査対象外又は受賞取消しとすることがあります。
- 応募資料の著作権は応募者に帰属します。ただし、主催者は基金内外への紹介、表彰、報告及び横展開を目的として、必要な範囲で編集・複製・公表できるものとします。
※特許出願予定の技術や、公開不可のノウハウが含まれる場合は、あらかじめマスキング等の処理を行った上でご提出ください。
- 審査結果及び審査過程に関する個別の問い合わせには回答しません。
- 反社会的勢力の排除について
応募者（協働事業者を含む）が反社会的勢力と一切の関係を有していないことを応募の条件とします。採択後または表彰後であっても、反社会的勢力との関係が判明した場合、または虚偽の申告があった場合は、審査対象外とするとともに、受賞の取り消しおよび交付済みの助成金（賞金）の全額返還を請求します。また、これにより主催者に生じた損害の賠償を求める場合があります。

9. 審査の基本方針

審査は、単なる削減効果の大小だけでなく、課題設定の妥当性、取組の実現性、品質・安全等への配慮、再現性及び横展開可能性を総合的に評価します。応募内容に応じ、実施段階や適用範囲を踏まえて判断します。

10. 評価項目・配点

評価項目	配点	評価の観点
課題設定・目的の明確性	15点	現場・業務の課題を適切に把握し、取組の目的及び対象範囲が明確であるか。
生産性向上効果	30点	工数、時間、コスト、処理量、手戻り等について、効果が定量的又は客観的に示されているか。
取組の工夫・独創性	15点	従来手法との違い、問題解決の工夫、技術・仕組み・運用面の独創性があるか。
実現性・定着性	15点	実行体制、導入手順、コスト、運用負荷等を踏まえ、継続的に運用できる見込みがあるか。
品質・安全・コンプライアンスへの配慮	10点	品質・安全・法令・情報管理等を損なわず、必要なリスク対策が講じられているか。
横展開可能性・波及効果	15点	他現場への適用可能性、標準化のしやすさ、波及効果が見込めるか。
	100点	

11. 個人情報の取扱い

応募により取得した個人情報は、本コンテストの運営、審査、連絡、表彰及び取組紹介の目的に限り使用します。